

# きゅうしゅう

NO. 46



写真：海上自衛隊 護衛艦「しらぬい」就役

## 目次 CONTENTS

1. 部隊紹介 : 陸上自衛隊 小郡駐屯地
2. 自治体紹介 : 福岡県小郡市
3. インフォメーション : 九州防衛局長着任のご挨拶  
海上自衛隊 護衛艦「しらぬい」就役  
周辺環境整備事業担当者会議の開催  
日米交流演奏会2019の開催  
「エアーメモリアルinかのや2019」で広報活動



九州防衛局 Kyushu Defense Bureau

<http://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/>

# 1. 部隊紹介

## 陸上自衛隊 小郡駐屯地

### 駐屯地司令挨拶



第5施設団長兼ねて小郡駐屯地司令

陸将補 白川 訓通

九州防衛局広報誌「きゅうしゅう」をご覧の皆様、第5施設団長兼ねて小郡駐屯地司令の白川です。

小郡駐屯地は、九州自動車道と大分自動車道が交わる交通の要衝である鳥栖JCT近郊に位置しています。昭和28年に小郡村（当時）の強い誘致活動により、鹿児島県鹿屋市から移駐して以来、地域とともに歩み続け、本年駐屯地開設66周年を迎えます。

駐屯地の基幹部隊である第5施設団は、南西防衛を任務とする西部方面隊における唯一の施設団であり、南西防衛に必要な施設支援能力を向上させつつ、一昨年前の九州北部豪雨及び昨年平成30年7月豪雨に係る災害派遣をはじめとする様々な活動を実施しています。

現在、平成31年度国連PKO支援部隊早期展開プロジェクト（アフリカ）に約20名の教官要員等を派遣する等、国外においても活動しています。

また、駐屯地としても、小郡市民祭りをはじめとする地域の行事や防災訓練等へ積極的に参加して参りました。

これまでの諸先輩方が築き上げた伝統、地域との絆を礎に、施設技術に磨きをかけ、地域の皆様の安心・安全に寄与して参ります。今後も地域の皆様とともに日本一の施設科部隊、日本一の駐屯地を創りあげていく所存です。

引き続き、小郡駐屯地に対しまして、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### あらゆる任務に対応するための取組等

多様化する任務に対応するための訓練や災害派遣活動



1. 指揮所用陣地の構築
2. 地雷原処理車による障害処理
3. 並走しながら積荷を散布するダンプトラック
4. 軽門橋の運行
5. 海岸へ上陸する水際地雷敷設車
6. アスファルト舗装による道路の維持補修
7. 平成29年7月豪雨災害に伴う災害派遣（福岡県朝倉市）
8. 西日本豪雨災害に伴う災害派遣（岡山県真備地区）

# 駐屯地所在部隊及び担任地域紹介



福岡県小郡市



小石原焼(東峰村)



秋月城(朝倉市)



今村天主堂(大刀洗町)

- 第5施設団
  - 第5施設団本部
  - 第5施設団本部付隊
  - 第9施設群
  - 第103施設器材隊
  - 第303水際障害中隊
  - 第305ダンプ車両中隊

- 第103施設直接支援大隊

- 小郡駐屯地業務隊

- 第361会計隊

- 第321基地通信中隊小郡派遣隊

- 第134地区警務隊(小郡連絡班)

- 福岡地方協力本部筑後地区隊



將軍藤(小郡市)



大刀洗平和祈念館(筑前町)



駐屯地の春



駐屯地の夜明け



駐屯地創立記念行事

## 国際平和協力活動等

日本国内のみならず海外においても活躍する隊員達



1



2



3

1. 2. 国連南スーダン共和国ミッションにおける南スーダン共和国でのインフラ整備(平成25年及び平成27年) 3. 国連アフリカ施設部隊早期展開プロジェクト(平成29年)におけるケニア共和国での重機等の教育

## 地域とともに

地域との連携、協力を重ねながら益々愛される駐屯地へ



1



2



3



4

1. 地域の自治体と連携して行われた記念行事での防災訓練展示 2. 中学生の職場体験による総合的な学習時間への協力 3. 小郡市防災会議における自治体との調整 4. 市民の方にも定着している音楽部によるふれあいコンサート

## 2. 自治体紹介



# 人が輝き、笑顔あふれる 快適緑園都市・おごおり



小郡市長 加地良光



### 市長のあいさつ

小郡市は、福岡県の南部、佐賀県との県境に位置する人口約5万9千人の市です。市の中央を南北に流れている宝満川を挟み、西側に住宅地帯、東側に緑豊かな田園地帯が広がっています。交通の便もよく、福岡市と中核市である久留米市へのアクセスにすぐれた、とても住みやすいまちです。

本市の歴史は古く、数多くの古墳や遺跡が散在しています。筑前、筑後、肥前の境界に位置し、太宰府にも近いことから、交通の要衝として、奈良時代には筑後国御原郡の官庁である「小郡官衙」が置かれました。江戸時代には「薩摩街道」「彦山道」などが東部の松崎地区周辺を通過し、宿場町として栄えました。

また、小郡市には、全国でも珍しい「織姫さま」をお祭りした神社があります。市内では、七夕のお祭りをはじめとする七夕にちなんだ様々なイベントが行われているだけでなく、いたる場所に「七夕」をキーワードとした施設やモニュメントを見つけることができます。

### 自衛隊との関わり

本市には、第5施設団本部等が駐屯する陸上自衛隊小郡駐屯地があり、海外を含む各地における防衛任務や災害時における救助活動など、様々な場面において活動をされています。また、地域に密着した活動として、毎年、創設記念行事やふれあいコンサートなどの魅力的なイベントや、桜の時季の駐屯地一般開放、小郡市民まつりや宝満川一斉清掃における協力などを行われており、様々な場面で市民の皆さんと交流を深められています。

小郡駐屯地は、昭和28年に鹿児島県鹿屋市に所在する第535施設大隊が移駐して創設されており、今年(令和元年)で駐屯地創設66周年を迎えられます。西部方面隊における施設力の骨幹部隊である第5施設団の主力が所在する駐屯地として、市民の皆さんの温かいご支援のもと、素晴らしい発展を続けて来られました。

本市としては、市民の皆さんと自衛隊のますますの親睦・融和及び防衛意識の高揚を目指し、今後もより一層自衛隊の活動を支援してまいります。

小郡駐屯地音楽隊の定期演奏会では地元中学生たちと競演♪



写真上／「桜並木一般開放」毎年、桜の開花時季に合わせて、陸上自衛隊小郡駐屯地のグラウンドと、その周辺を一般開放。バーベキューやお酒を飲みながら、のんびり過ごす姿が多く見受けられます。  
写真右／「音楽隊定期演奏会」迫力の演奏に聴き入る観客からは、大きな拍手が送られます。



## 小郡のまち

小郡市には、12の鉄道駅があり、福岡市までは電車で30分、久留米市までは8分で行き来することができます。九州自動車道・大分自動車道への接続にも恵まれた、とても交通の便のよいまちです。

プロ野球ウエスタン・リーグの公式戦を行う野球場や、陸上競技場を備えた運動公園もあり、各種の大会やイベントも盛んに行われています。

また、七夕祭りや花火大会、花の開花に合わせたお祭りや、スイーツの祭典「オータムフェスタ」などなど、季節のイベントもたくさん開催されています。皆さんのお越しをお待ちしております。

## 四季の風景

自然豊かな風景を彩る春夏秋冬



春

市内各所に、菜の花が咲き誇ります。ハーフマラソン大会や、プロ野球ウエスタン・リーグの公式戦など、スポーツイベントが満載！



夏

毎年8月に開催される「夢エナジ」。宝満川河川敷で、水上花火や仕掛け花火など、約8千発もの花火が夜空に上がります。



秋

花立山や如意輪寺の木々が秋色に染まる頃、「コスモス祭り」や「オータムフェスタ」など、家族で楽しめるイベントがいっぱい！



冬

冬になると、西鉄小郡駅前はイルミネーションが点灯し、一気に華やきます。家路につく市民を癒す、冬の風物詩です。

## 見どころ

日本人・外国人観光客に好評の観光スポット



如意輪寺 NYOIRINJI



如意輪寺 729年(天平時代)行基菩薩によって創建。“かえる寺”としても知られ、多くのカエル像が参拝者の目を楽しませ、最近海外からの観光客が多く訪れるスポット。

旅籠油屋 HATAGO ABURAYA



旧松崎「旅籠油屋」江戸時代に建てられた旅籠建築の姿を残す市指定有形文化財。今春復原が完成！

### 3. インフォメーション

#### 廣瀬 律子 九州防衛局長着任のご挨拶



▲廣瀬 律子 九州防衛局長

九州防衛局は、九州7県を担当し、地方における防衛行政の拠点として、皆様の理解と協力を得るため、防衛政策についての情報提供や説明を実施しております。また、自衛隊や在日米軍が使用する防衛施設の建設や、防衛施設を安定的に運用できるよう様々な施策を行っています。

私は、生まれてから高校生の間までの間を佐賀で過ごし、大学生活を福岡で送りました。私にとって、九州はふるさとであり、原点でもあります。ここ九州で、自衛隊・在日米軍と地方公共団体・地域住民をつなぐ架け橋としての役割を果たすことになり、うれしく思うと同時に、責任と使命の重さを感じています。

防衛省・自衛隊の活動は、国民ひとりひとり、そして、地方公共団体などの理解と協力があってはじめて可能となるものです。地元の皆様方の声に真摯に耳を傾けながら、信頼をより一層深めていくよう努力してまいります。

## 海上自衛隊 護衛艦「しらぬい」 就役

平成31年2月27日(水)、自衛艦旗を授与された護衛艦「しらぬい」が、長崎造船所(三菱重工業(株))において、初代艦長高須賀政信2等海佐の指揮の下、配備先である大湊に向け出港しました。

同艦は、海上自衛隊護衛艦として初めてのハイブリッド推進(ガスタービン推進に加え、電気推進システムを組み合わせ)として昨年就役した護衛艦「あさひ」に続く2番艦であり、基準排水量5,050トン、全長151メートル、幅18.3メートル、速力30ノットの最新鋭の護衛艦で、建造当初から潜望鏡探知レーダを装備しています。

なお、同艦は、平成26年度に計画され、平成28年5月に起工、翌29年10月に進水した後、ぎ装(各種機器等の搭載)を行い、30回を超える海上公試を経て、今般就役したのですが、この間、長崎防衛支局は、建造工事の監督及び検査を担当し、同艦の完成に深く関わりました。



▲栄誉礼を行う隊員達



▲護衛艦「しらぬい」に乗艦する隊員達



▲出港する護衛艦「しらぬい」

## 周辺環境整備事業担当者会議の開催

平成31年3月20日(水)、福岡第2合同庁舎において、防衛施設周辺地域の生活環境等を整備することを目的とした事業(いわゆる周辺環境整備事業)に関係する地方自治体担当者との会議を開催しました。

本会議は、これらの事業に関する法律(「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」及び「駐留軍等の再編の円滑な実施に関する特別措置法」)等による制度の内容や具体的な事例を交えつつ説明することにより、今後の補助金の適正な運用及び補助金業務の一層の効率的かつ円滑な推進を図ることを目的として開催しました。

会議は、午前中、九州防衛局次長による開催の挨拶の後、周辺環境整備課及び防音対策課の担当者から説明を行う形で進行しました。

また、午後からは、(株)つなぐネットワーク代表取締役牛島晃氏を講師として招き、「地方における地域活性化の課題について」の講演及び代表自治体の担当者を交えてのパネルディスカッションを行い、各自治体が抱える問題について共有し、討論することで今後の地域活性化に繋がるまちづくりの参考とすることができました。

本会議は、防衛施設周辺の55の地方自治体の担当者117名が参加し、熱のこもった実り多いものとなりました。



▲参加者に説明を行う九州防衛局担当者



▲牛島 晃氏による講演



▲パネルディスカッションの様子

## 日米交流演奏会 2019 ~ Hand in Hand with Harmony ~ の開催

3月26日（火）、長崎県佐世保市のアルカスSASEBOにおいて、「日米交流演奏会2019」を開催しました（来場者約1,100名）。

この演奏会は、米海軍の基地が所在する佐世保市の高校生や中学生と、米海軍佐世保基地内のアメリカン・スクールの高校生とが、吹奏楽の演奏を披露し互いに交流することにより、相互理解を深めより大きな信頼関係を構築することを目的として、佐世保市等の関係機関の協力を得て九州防衛局が主催したものです。

演奏のトップを飾ったのは長崎県立佐世保東翔高等学校のマーチングバンド（出演者50名）で、各生徒が複雑なマーチングの動きを一寸の乱れもない統制された身のこなしとともに演奏する姿に、見ている側もつい体を動かしたくなるほどでした。

次に、佐世保基地内に所在するE. J. キング・ハイスクール（出演者34名）が、ラテン・ナンバー「フィエスタ ラ ヴィーダ」ほか2曲を楽しく軽快に奏で、観客を魅了しました。

続いて、佐世保市内の複数の中学校の生徒が有志で編成した中学生選抜チームの「佐世保ジュニア・オールスターズ」（出演者84名）が、「吹奏楽のための第一組曲」ほか1曲を中学生らしく元気一杯に演奏し、微笑ましい姿を披露しました。

最後に、参加した中高生の生徒総勢168名による日米合同演奏として、日米両国の国歌を荘厳に奏でたほか、「ドンキホーテのエピソード」と「キエフの大門」の2曲を優雅に演奏しました。

すべての演奏が終了しても、佐世保市民や米軍の家族の皆様で埋め尽くされた客席からは惜しみない拍手が鳴り止まず、盛況の中、日米の生徒は、互いの学校の新しい友達に宛てたメッセージで飾られたティンパニー・ヘッドによるプレゼント交換を行い、観客とともに日米の友好を分かち合いつつ閉演しました。



▲佐世保東翔高校のマーチングバンドによる演奏



▲E. J. キング・ハイスクールによる演奏



▲日米合同演奏



▲佐世保ジュニア・オールスターズによる演奏



▲日米の生徒によるプレゼント交換



## 九州防衛局が「エアーメモリアル in かのや2019」で広報活動

4月28日(日)、海上自衛隊鹿屋航空基地において「エアーメモリアル in かのや2019」が開催され、約2万2千人(主催者発表)の来場者で賑わう中、九州防衛局は、会場内にブースを設置し、広報活動を行いました。

ブースでは、九州防衛局の広報誌「きゅうしゅう」をはじめとする防衛省各種パンフレットの配布、航空機等のペーパークラフトの展示・配布、自衛隊災害派遣等のパネル展示、防衛白書クイズなどを行いました。多くの方々が立ち寄り、担当職員に質問するなど関心を集めていました。

特に、防衛白書クイズのコーナーでは、正解すると戦車や戦闘機、護衛艦がプリントとされた缶バッジの新作がもらえるとあって、家族連れや子供達で行列ができました。また、ペーパークラフトの展示では多くの来場者が足を止め、細部まで丁寧に作られた作品に目を凝らしていました。更に、ブルーインパルスのパイロットの全身をかたどった顔出しパネルでは、老若男女を問わず多くの方々が写真撮影を楽しんでいました。

九州防衛局は、今後とも防衛省の諸施策や自衛隊の活動について、より多くの方々にご理解頂けるよう分かりやすい広報に努めてまいります。自衛隊の各種イベントにて皆様のお立ち寄りをお待ちしています。



▲各コーナーともに多くの来場者で賑わっていました



▲防衛白書コーナーはクイズに挑戦する家族連れや子供達で賑わっていました



▲防衛白書クイズに正解すると缶バッジが買えます



▲顔出しパネルで気分はパイロット

### お知らせとお願い

米軍施設の上空やその周辺においてヘリやドローンを飛行させることは、米軍の航空機との衝突事故等につながるおそれがある大変危険な行為です。

実際に、米軍ヘリが衝突を避けるために回避を余儀なくされる等、米軍航空機の航行の安全に影響が生じるような事案が発生しています。こうした行為により、航空機の安全な航行を妨害したとき等には、法令違反に当たる場合があります。

安全確保のため、御理解をお願いいたします。

米軍施設の上空やその周辺においてヘリやドローンを飛行させることは、重大事故につながるおそれのある大変危険な行為ですので、行わないで下さい。

こうした行為により、航空機の安全な航行を妨害したとき等には、法令違反に当たる場合があります。



防衛省・警察庁・国土交通省・外務省

■本チラシの内容に関するお問い合わせにつきましては、下記のいずれかの部署に御連絡願います。

防衛省本省 地方協力局地方協力企画課  
防衛省九州防衛局 総務部報道官

(代表) 03-3268-3111 (内線: 36245、36047)  
(直通) 092-483-8813

# 在日米軍従業員募集

## 日本の「アメリカ」で働きますか! 「エルモ」が応援! あなたの就活!



独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構【エルモ】では、在日米軍基地で勤務する従業員の募集を行っています。  
 興味のある方は、エルモホームページをご覧ください。下記の支部にお問い合わせください。

<http://WWW.lmo.go.jp>

LMO

### 【窓口応募受付・お問い合わせ先】

エルモ佐世保支部管理課管理係  
 住所: 長崎県佐世保市平瀬町3-1  
 電話: 0956-23-7191  
 担当施設: 佐世保海軍施設、赤崎貯油所、針尾住宅地区など

求人情報 (スマートフォン)



九州防衛局では不測の事態に対応するため、夜間・休日を問わず連絡体制を確保しております。

**夜間及び休日の連絡先**  
 電話:(092)483-8832 FAX:(092)472-1959

・平日は17時15分から翌朝8時30分まで、  
 休日は終日。